

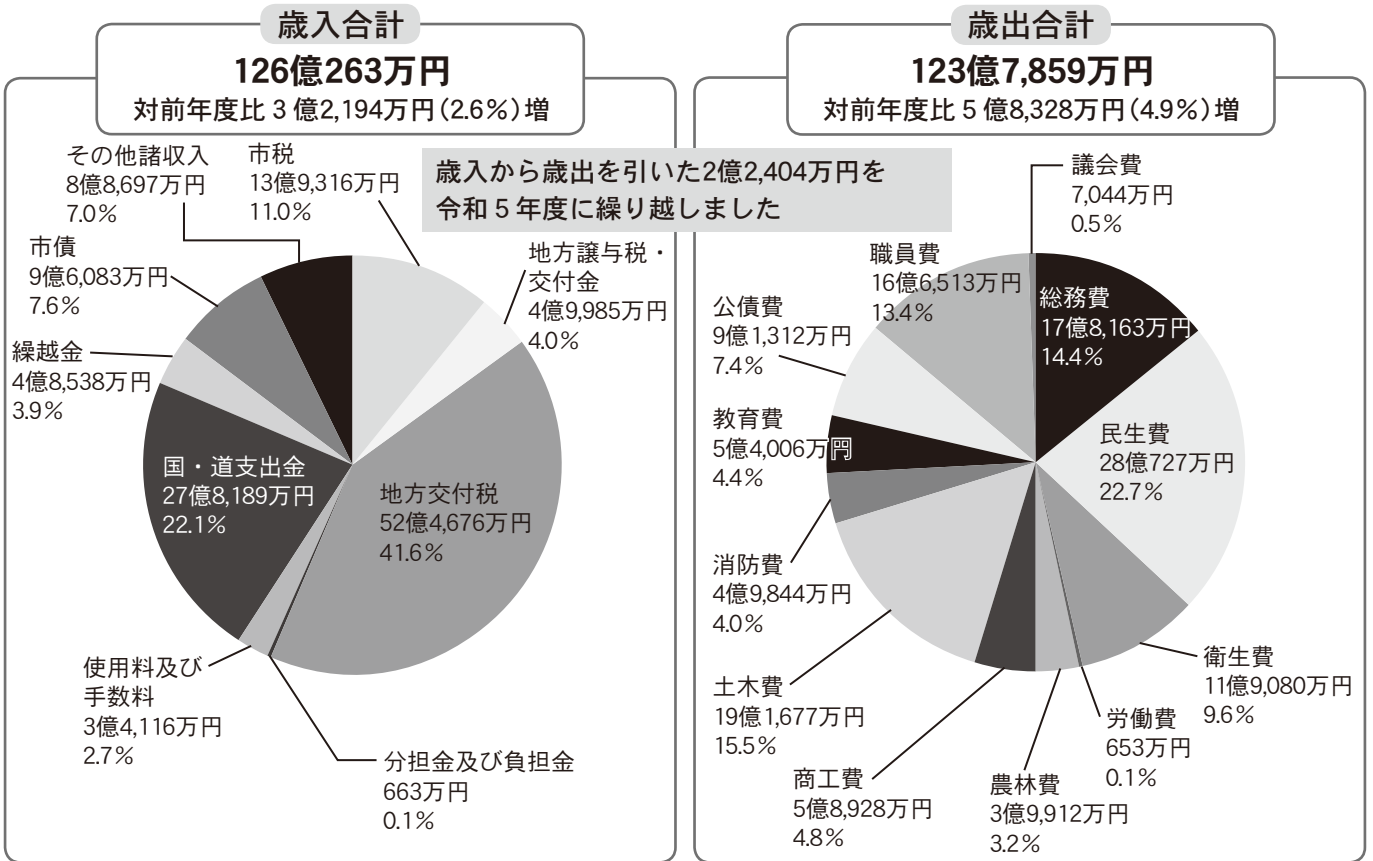
令和
4年度

決算の状況をお知らせします

市は、皆さんから納めていただいた市民税、固定資産税などの税金や国・北海道から受ける交付金などを基に予算を組み立て、皆さんが安心して暮らすことのできる住みよいまちづくりに取り組んでいます。今回は、市の予算がどのように使われたのか、令和4年度の決算状況をお知らせします。

一般会計 福祉や教育など、市の基本的な事業の会計です。

歳入と歳出の差引額 2億2,404万円から前年度の実質収支額 3億2,064万円を差引いた結果、9,660万円の赤字となりました。



◆市民1人あたりの歳入と歳出◆

※令和5年3月31日現在の人口(住民基本台帳)で割って算出(11,790人)

歳 入		
市税	皆さんが納めた税金	118,165円
地方譲与税・交付金	消費税の一部として交付されたお金や自動車税環境性能割などから分配されたお金など	42,396円
地方交付税	一定のサービス水準を確保するため、人口や税収などに応じて国から配分されるお金	445,018円
分担金及び負担金	保育料などの特定の利益を受けるかたが負担されたお金	562円
使用料及び手数料	施設の使用料や住民票の手数料など	28,936円
国・道支出金	市の事業に対し、国や道から交付されたお金	235,953円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	41,169円
市債	国や金融機関から借り入れたお金	81,495円
その他諸収入	寄付金や財産収入など	75,231円
合 計		1,068,925円

歳 出		
議会費	議会運営にかかる費用	5,975円
総務費	地域振興や庁舎管理、情報化推進などの費用	151,114円
民生費	高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用	238,106円
衛生費	ごみ処理、保健衛生などの費用	101,001円
労働費	雇用や労働環境向上などに対する費用	554円
農林費	農業振興や林業振興などの費用	33,852円
商工費	商工業振興や観光などの費用	49,981円
土木費	道路、河川、公園などの費用	162,576円
消防費	消防、救急活動の費用	42,277円
教育費	小中学校、生涯学習振興などの費用	45,807円
災害復旧費	災害が発生したときの復旧費用	0円
公債費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用	77,449円
職員費	市職員の給与や退職金	141,232円
合 計		1,049,924円

特別会計

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。

会計名	予算額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
奨学資金	3,562万円	3,595万円	3,561万円	34万円
国民健康保険	19億8,274万円	18億7,889万円	18億7,385万円	504万円
下水道事業	4億8,221万円	4億6,935万円	4億6,932万円	3万円
介護保険事業	17億5,467万円	17億2,536万円	16億2,644万円	9,892万円
介護サービス事業	1億2,186万円	1億1,869万円	1億1,869万円	0万円
後期高齢者医療	2億7,807万円	2億7,646万円	2億7,620万円	26万円
合計	46億5,517万円	45億470万円	44億11万円	1億459万円

企業会計

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計です。

会計区分	収支区分	収入	支出	収支差引額
病院事業	収益的収支	20億5,142万円	18億9,360万円	1億5,782万円
	資本的収支	1億684万円	1億6,143万円	▲5,459万円
水道事業	収益的収支	4億4,309万円	4億1,297万円	3,012万円
	資本的収支	2億3,836万円	3億9,572万円	▲1億5,736万円

市の財産

市が市民の皆さんに対して、さまざまなサービスを提供するために持っている土地や建物、そのほかの財産は次のとおりです。

○基金

区分	金額
財政調整基金	7億9,380万円
減債基金	4億917万円
地域・産業振興基金	4億7,039万円
公共施設等整備管理基金	665万円
教育・文化・スポーツ振興基金	4,603万円
森林環境整備基金	2,646万円
ふるさと応援基金	1億108万円
庁舎建設基金	3億8,288万円
芦別130周年・市制施行70周年記念事業基金	600万円
学校基金	269万円
奨学基金	1,487万円
国民健康保険基金	1億3,648万円
介護保険基金	4億3,939万円
合計	28億3,589万円

○土地・建物

区分	面積	
土地	公の施設	448万8,382m ²
	山林	555万9,698m ²
	その他	94万146m ²
	計	1,098万8,226m ²
建物	23万7,326m ²	

○有価証券・出資による権利

区分	金額
有価証券(株券)	4,224万円
出資金・出えん金	6,567万円

○北海道市町村備荒資金組合納付金

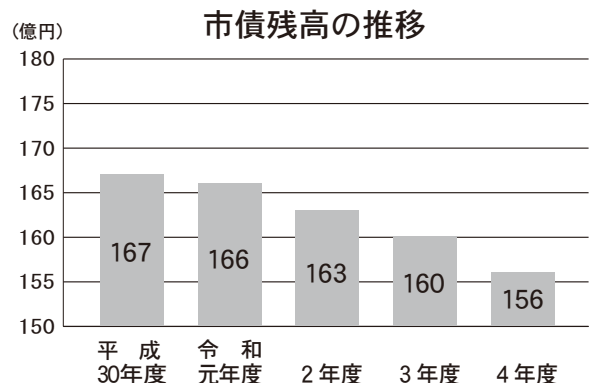
区分	金額
普通納付金	1億1,033万円
超過納付金	10億3,535万円
合計	11億4,568万円

市債

市債とは、市の借金のことです。一般、特別、企業会計の市債残高の合計は、次のグラフのとおりです。

区分	令和4年度末 現在高	令和4年度 元利償還金
一般会計	107億9,502万円	9億1,224万円
下水道事業特別会計	20億2,223万円	3億4,608万円
介護サービス事業特別会計	2億5,601万円	5,796万円
病院事業会計	4億7,947万円	9,183万円
水道事業会計	20億4,372万円	2億2,548万円
合計	155億9,645万円	16億3,359万円

※介護サービス事業特別会計については、令和4年度末をもって廃止したため、令和5年度以降については、一般会計の市債残高に含めるものとします。



健全化判断比率と資金不足比率を公表します

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)により、毎年度、健全化判断比率と資金不足比率を算定し、公表することが義務づけられています。

令和4年度決算に基づいて算定された本市の健全化判断比率は、財政再建に取り組まなければならない基準(早期健全化基準)をいずれも下回っています。

●令和4年度決算に基づく健全化判断比率 (単位:%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
公表数値	—	—	5.3 (5.3)	67.8 (76.3)
早期健全化基準	14.36 (14.26)	19.36 (19.26)	25.0 (25.0)	350.0 (350.0)
財政再生基準	20.00 (20.00)	30.00 (30.00)	35.0 (35.0)	

※1 実質赤字比率または連結実質赤字比率がない場合は、「—」と記載しています。

※2 ()内は令和3年度決算に基づく数値です。

1. 実質赤字比率 …… 標準的な収入に対する赤字額 赤字なし

一般会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。
家計簿に例えると、世帯主の収入に対して赤字額が占める割合になります。

2. 連結実質赤字比率 …… 標準的な収入に対する各会計を連結した赤字額 赤字なし

全ての会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。
家計簿に例えると、世帯主の収入の合計に対して家族全員の赤字額が占める割合になります。

3. 実質公債費比率 …… 標準的な収入に対する借金返済の負担割合 健全

標準的な収入における地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額などが占める割合を示した指標です。
家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額が収入に占める割合になります。

4. 将来負担比率 …… 標準的な収入に対する将来の実質的な債務などの負担割合 健全

標準的な収入における今後負担することになっている負債額などが占める割合を示した指標です。
家計簿に例えると、住宅ローンなどの残高が現在の収入に占める割合になります。

●令和4年度決算に基づく資金不足比率 (単位:%)

企業会計・特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	— (—)	20.0 (20.0)
病院事業会計	— (2.8)	20.0 (20.0)
下水道事業特別会計	— (0.5)	20.0 (20.0)

※1 資金不足比率がない場合は、「—」と記載しています。

※2 ()内は令和3年度決算に基づく数値です。

資金不足比率 …… 公営企業会計の事業規模に対する赤字額 全ての公営企業会計において資金不足比率なし

毎年の事業収入に対して現金がどのくらい不足するのかわを示した指標です。
家計簿に例えると、世帯主以外の家族一人一人の収入に対する赤字額の割合です。

都市計画税の用途状況をお知らせします

■都市計画税の用途内訳

区分	金額(万円)	構成比(%)
公園整備事業	168	0.4
下水道整備事業	948	2.6
地方債償還額(※)	35,912	97.0
合計	37,028	100.0

※街路、公園、下水道事業のために借り入れた地方債償還額

■都市計画事業等の財源内訳

区分	金額(万円)	構成比(%)
都市計画税	5,528	14.9
一般財源等	30,384	82.1
その他	1,116	3.0
合計	37,028	100.0

都市計画税は、街路、公園、下水道整備などの都市計画事業等の費用に充てるため課税される目的税で、都市計画区域のうち、用途地域内に土地や家屋を所有しているかたに、その資産の価格に応じて納めていただく税金です。

令和4年度の都市計画税(5,528万円)は、左記のとおり都市計画事業等(3億7,028万円)の財源として活用しました。

令和4年度 主な事業の決算額

事業名	決算額	事業の成果の内容
情報通信基盤整備事業	2億7,826万円	市内全域で光インターネットサービスが利用できるよう、未整備地域に対して光ファイバの整備を実施しました。
コミュニティセンター整備事業	1,111万円	本市の指定避難所である「本町地区生活館」の機能強化等を図るため、屋上防水等改修工事を実施しました。
し尿収集事業	2,926万円	し尿収集計画に基づき適正に収集を行うため、し尿収集車の更新を実施しました。
民有林振興対策事業	1,186万円	民有林林業の振興を図るため、市が計画した人工造林や下刈、間伐等の森林整備事業を実施する森林所有者に対し補助を実施しました。
森林環境保全整備事業	2,714万円	市有林における森林資源の確保、地元木材の価値の向上、民有林林業の振興及び二酸化炭素の吸収源対策を図るため、人工造林や下刈、間伐等を実施しました。
健民センター整備事業	8,690万円	健民センター施設の環境整備を図るため、国民宿舎外壁・屋上防水改修工事やスターライトホテル・国民宿舎の冷暖房機器の更新を実施しました。
道路維持改良事業	1億5,000万円	舗装の改良や段差の解消、高齢者や障がい者に配慮した歩道の確保のため、上芦別あかしや3番線ほか10路線の維持改良工事を実施しました。
橋りょう整備事業	4,281万円	快適・安全な橋りょう環境の整備のため、啓南大橋補修工事等のほか14橋の橋りょう点検を実施しました。
除排雪事業	2,530万円	冬期間における交通を確保し、安全・安心な暮らしを提供するため、除雪ロータリを更新を実施しました。
公園整備事業	3,543万円	安心して憩える空間を提供するため、上金剛山公園内道路の整備を実施しました。
市営住宅維持管理事業	1億7,359万円	公営住宅等長寿命化計画に基づき、将来に向けた地区管理戸数の縮減化を図るため、改良住宅西芦別団地除却工事（8棟32戸）等を実施しました。
公営住宅建替事業	6億1,078万円	住宅環境の充実を図るため、ことぶき団地建替工事（2棟20戸）及びことぶき団地建替工事監理業務委託等を実施しました。
B & G海洋センター整備事業	3,738万円	B & G海洋センターの環境整備を図るため、照明設備（LED）改修工事やろ過装置等の更新を実施しました。
市民会館・青年センター整備事業	1,815万円	適切な施設の管理運営を図るため、市民会館大ホール舞台音響設備の更新を実施しました。
星の降る里百年記念館整備事業	1,067万円	適切な施設の管理運営を図るため、冷房用冷却塔取替工事を実施しました。
給食センター整備事業	2,443万円	安心・安全な学校給食の提供を図るため、温水ボイラー取替工事のほかスチームコンベクション等の厨房機器の更新を実施しました。

令和4年度寄付金の状況を公表します

市には毎年、個人、企業・団体から多大なるご厚意のもと、多くの寄付金が寄せられています。この貴重な寄付金は、市のまちづくりの大きな支えとして、有効に活用させていただいており、改めて感謝申し上げます。今後とも、皆様と「ふるさと芦別」の縁を大切に育んでまいりたいと考えておりますので、芦別の発展に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■令和4年度寄付件数・金額

区分	件数	金額
個人	24,831件	294,874,370円
企業・団体	24件	11,373,015円
合計	24,855件	306,247,385円

○寄付金の活用状況

事業区分	活用事業
令和4年度にいただいた寄付金	
①児童福祉施設整備費寄付金	子どもセンター遊具整備費
②地域包括支援事業費寄付金	地域包括支援に係る費用全般
③図書館整備費寄付金	図書購入費
④新型コロナウイルス感染症対策事業費寄付金	感染症予防対策に係る備品及び消耗品の購入費
⑤その他寄付金	市立芦別病院医療機器購入費など
⑥ふるさと応援寄付金	
健康と命を守る事業	総合運動公園維持管理費、公園管理費、生活習慣病予防対策事業など
子ども、子育て支援事業	乳幼児医療助成事業、子どもセンター管理運営費、学校給食事業など
活気あるまちづくり事業	商工業振興・育成事業、農業振興対策事業、移住・定住促進事業など
地域の魅力向上事業	道の駅等管理運営費、ドリーム・ベースボール開催事業など
「星の降る里あしべつ」を応援する事業	公園管理費、高等教育推進事業、母子保健事業など
ふるさと納税促進に関する事業	ふるさと納税感謝特典報償費、ふるさと納税ポータルサイト利用手数料など

令和4年度にいただいた寄付金のうち、1億9,658万3,370円を上記事業に活用させていただいたほか、1億966万4,015円を基金として積み立て、後年度の事業に有効活用させていただくこととしました。

令和3年度までにいただいた寄付金

①地域・産業振興基金	滝里湖オートキャンプ場管理運営費、桜ヶ丘霊園手すり設置、旭ヶ丘公園屋根塗装など
②公共施設等整備管理基金	コミュニティセンター管理運営費、市民会館・青年センター管理運営費など
③教育・文化・スポーツ振興基金	文化財保護事業、合宿振興事業、各種体育団体助成事業など
④森林環境整備基金	森林環境整備事業
⑤ふるさと応援基金	
健康と命を守る事業	感染症予防対策事業、体育振興事業など
子ども、子育て支援事業	小学校管理費、中学校管理費など
活気あるまちづくり事業	農業振興対策事業、移住・定住促進事業など
地域の魅力向上事業	道の駅等管理運営費、芸術文化交流館管理運営費、上金剛山公園内道路整備など
市長におまかせ・「星の降る里あしべつ」を応援する事業	防災備蓄品、母子保健事業、読書普及活動事業など

令和3年度までにいただいた寄付金のうち各基金に積み立てをしていたものを、令和4年度に実施した上記事業に2億3,978万8,684円を活用させていただきました。

安全安心なまちづくりの日及び全国地域安全運動の実施 ～みんなで築こう、安全で安心な大地～

○実施期間／10月11日(水)～20日(金)

○安全安心なまちづくりの日

ア 10月11日は「安全安心なまちづくりの日」です。

- ・この機会に今一度、防犯に対する意識と理解を深めるとともに、地域全体で犯罪が起こりにくい環境づくりを進め、誰もが安全で安心して暮らすことのできる地域社会を実現しましょう。

イ 子どもと女性の犯罪被害防止

- ・地域の見守りの目を増やすことは、犯罪の未然防止や防犯力の向上にもつながることが期待できます。ウォーキングや買い物、犬の散歩等の日常生活の中でできる「ながら見守り」にご協力願います。
- ・危険な事態を予測、回避する能力を身につけるため、防犯標語「いかのおすし」を活用し、不審者に遭遇した際の対処方法を、日頃から子どもと話し合しましょう。
- ・路上、電車など危険な場面に遭遇した際には、防犯ブザー等の防犯グッズのほか、痴漢対策機能等が搭載された北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」が有効です。

ウ 特殊詐欺の被害防止

- ・「オレだけど急にお金が必要になった」、「還付金があるからATMに行って」、「名義貸しは違法、逮捕される」など、突然お金を要求する電話がかかってきたら、一度電話を切って周りのかたに相談するか、警察相談電話「#9110」に連絡してください。
- ・普段から家族間で連絡を取り合い、相談しやすい環境を整えましょう。
- ・犯人と直接電話で話さないことが何よりの被害防止対策となります。固定電話を常に留守番電話に設定して相手を確認してから電話にでる、迷惑電話防止機能を有する機器を活用するなどして、犯人と直接電話で話さないようにしましょう。
- ・SNSには「闇バイト」「即金」こんな言葉があふれていますが、これはアルバイトの募集ではなく、犯罪実行者の募集です。犯罪に加担することになり、逮捕された人が多くいます。あなたがしようとしている犯罪で被害を受ける人がいます。絶対に応募してはいけません。

エ 侵入強盗・侵入窃盗の被害防止

- ・北海道内で侵入窃盗が増加傾向にあるため、家に居るときは鍵を掛け、必要に応じて防犯カメラを設置するなど、自主防犯に努めましょう。
- ・強盗などの事件では、宅配業者の訪問を偽装するなどの手段で侵入する手口がみられるため、「置き配」などの非対面方式の宅配方法を利用することで被害を防ぐことができます。

運動期間中は、関係団体等と連携し、市民の皆さまの自主防犯意識の高揚と地域安全運動の活性化を図り、安全で安心な『星の降る里あしべつ』のために活動を行いますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

●詳細 芦別警察署 ☎22-0110